

演者の皆様へのご案内

【口演発表】

発表形式

1. 口演会場は、「華鳳 2F 黎明」です。
2. すべての口演発表を PC プロジェクターの発表に限らせていただきます。事務局で用意いたします。PCは Windows10です。Macintoshの場合は、PCをご持参ください。
3. 発表者は発表時間 30 分前までに、口演会場前ロビーにて PC 受付を行ってください。
◆次演者は、前演者が登壇しましたら次演者席にご着席ください。
4. スクリーン 1 面に映写されます、マウス及び矢印ボタンを用いてのスライド送りになります。

発表時間

セッション名	講演・発表	質疑応答
特別講演	45 分	(質疑応答含む)
文化講演	40 分	〃
招待講演	60 分	〃
教育講演	15 分	〃
会長企画	演題により時間が異なりますので、 ご案内している時間にてお願いいたします。	
シンポジウム 1～7		
ポスターセッション	4 分	3 分
Meet the experts	60 分 (Discussion)	

データを持ち込まれる場合

1. 発表用データは USB フラッシュメモリで最新のウイルスチェックを済ませたものをご持参ください。
プレゼンテーションに動画などを含まれる方は、バックアップとしてご自身の PC をご持参いただくことをお勧めします。
2. Mac で PPT をお作りの方は、バックアップとしてご自身の PC をお持ちください。
3. 学会にて準備する PC は Windows、ソフトは Microsoft PowerPoint です。
4. アスペクト比は 16：9 のワイドサイズとなります。
5. 文字フォントは Windows 版 Microsoft PowerPoint に標準装備されたものをご使用ください。
日本語：MS ゴシック / MS P ゴシック / MS 明朝 / MS P 明朝
英語：Times New Roman / Arial / Arial Black / Arial Narrow / Century / Century Gothic / Courier New / Georgia
※上記以外のフォントを使用した場合、文字・段落ずれ、文字化け、表示されないなどのトラブルが発生する可能性があります。
6. ファイル名は「演題番号演者名 .ppt」あるいは「演題番号演者名 .pptx」としてください。
(例：O-1 日本一郎 .ppt, O-2 日本二郎 .pptx)
7. メディアには当日発表されるデータのみ保存してください。
8. 発表者ツールの使用はご遠慮ください。
9. 学術集会前に必ず他の PC にて動作確認をお願いいたします。お預かりいたしましたデータは、発表終了後、責任を持って消去させていただきます。

PC 本体を持ち込まれる場合

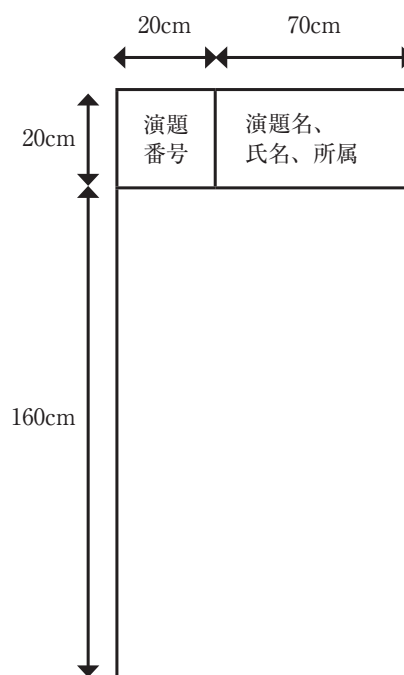
1. AC アダプターを必ずご持参ください。
2. 学会でご準備する接続ケーブルの端子はHDMIです。これ以外の形状の外部モニター出力端子の場合は、ご自身で「変換アダプター」をご用意ください。
3. スクリーンセイバー及びスクリーンロック、省電力設定、起動時のパスワード設定は予め解除してください。
4. PCトラブルに備え、必ずUSB フラッシュメモリに保存した発表データを別途ご持参ください。
5. 発表者ツールの使用はご遠慮ください。
6. 発表終了後、発表会場内オペレーター席にてPCをご返却いたします。

【ポスターセッション】

1. ポスター会場は、「華鳳 2F バンケットホール」です。
2. ポスターセッションにて口頭での発表をお願いいたします。発表4分／討論3分です。
3. ポスターの掲示は、ご自身の発表当日12時から翌朝9時まで行ってください。
4. 発表者は指定時間までに発表ポスター前に集合し、座長の指示に従ってください。演題番号は、事務局でご用意いたします。

指定の展示スペースに演題名、所属、氏名を記入したタイトル（縦20cm、横70cm）を各自用意し貼ってください。展示スペースは、タイトルの下の縦160cm、横90cmのスペースです。

5. 掲示に必要な画鋏はポスター会場に用意しております。
6. ポスターは発表翌日午前9時から11時の間に撤去してください。時間までに撤去されないポスターは事務局にて処分いたします。



【Meet the experts】

1. Meet the experts は、2日目の夜21:00～22:00に開催いたします。
2. Meet the experts 会場は、当日掲示します。
3. スクリーン・プロジェクター等の機材はありません。Expertの先生は、必要に応じてご自身のPCをご使用ください。

【利益相反の開示】

本学術集会では、すべての発表者に対して、口頭発表の場合は発表スライドのタイトルの次のスライドで、ポスター発表者は最後部に利益相反の開示を必ず提示して下さい。

COI 開示のサンプル

① 開示すべき COI がない場合

開示すべきCOIがない場合

悪性脳腫瘍の外科治療（タイトル）

Neurooncology 大学脳神経外科（施設名）
脳腫瘍太郎（氏名）

筆頭演者は日本脳神経外科学会（もしくは日本脳腫瘍学会）に過去3年間のCOI自己申告を完了しています。本演題の発表に際して開示すべきCOIはありません。

② 開示すべき COI がある場合

開示すべきCOIがある場合

悪性脳腫瘍の外科治療（タイトル）

Neurooncology 大学脳神経外科（施設名）
脳腫瘍太郎（氏名）

筆頭演者は日本脳神経外科学会（もしくは日本脳腫瘍学会）に過去3年間のCOI自己申告を完了しています。

開示すべきCOIがある場合

筆頭演者のCOI 開示

筆頭演者は日本脳神経外科学会（もしくは日本脳腫瘍学会）に過去3年間のCOI自己申告を完了しており、過去3年間（いずれも1月～12月）において、本発表に関して開示すべきCOIは以下のとおりです。

1. 役員、顧問職	なし	} 金額は開示不要
2. 株の保有	なし	
3. 特許権使用料	なし	
4. 講演料	あり(〇〇製薬)	
5. 原稿料	なし	
6. 研究費	あり(〇〇製薬)	
7. その他	なし	

Neurooncology 大学脳神経外科（施設名）
脳腫瘍太郎（氏名）

③ 寄付講座他の場合

寄付講座他の場合

寄付講座在籍の研究者や奨学寄附金などの外部資金によって雇用されている研究者の場合、所属は母教室名ではなく、所属施設・機関で使用されている正式名称を記載し、その資金を提供している企業名を併記して下さい。複数の企業からの寄付金や外部資金による場合には年間200万円以上の企業については該当する企業名をすべて記載して下さい。

(寄付講座のみ表記する場合)

〇〇大学 △△寄付講座(同寄付講座は A製薬(複数ある場合にはすべて記載)の寄付金にて支援されています)

(寄付講座と母教室を併記する場合)

〇〇大学 脳神経外科・△△寄付講座(同寄付講座は A製薬(複数ある場合にはすべて記載)の寄付金にて支援されています)